

開催時期：2018年4月～12月

開催予定数：10大会前後

公認料：5万円

- 開催要件：1、IFSCの決勝方式に準じた決勝を開催し、男女ともに全選手の順位が確定する大会であること
- 2、JMSCAの定める基準（それぞれB級以上）を満たしたセッターおよびジャッジをそれぞれのチーフとすること
※招集するセッター及びジャッジの謝金・旅客交通費は主催者が支払うものとする（謝金額は主催者が決定できるものとする）
- 3、開催希望届をJMSCAへ提出し公認大会認定証を受領した大会であること

BJC2019 出場権獲得条件（公認大会10大会開催の場合）：

- ・各大会の男子上位6名、女子3名をBJC2019 出場権獲得とする
- ・対象者に下記優先出場枠保持選手がいた場合は繰り上げとする
- ・公認大会には複数参加（最大5）することができる（出場権を獲得した場合は、以降の大会では優先出場枠保持選手と同様の扱い）
※2019年のIFSC WCに出場できる年齢に満たない選手は公認大会に出場はできますが、BJC2019の出場権は獲得できません
- ・出場選手が優先出場権を獲得するには、公認大会出場前にJMSCAの2018年度選手A登録が必要です

2019年ボルダリングジャパンカップ優先出場枠資格：2018年ボルダリングB代表以上、オリンピック強化指定選手

2018年ユース選手権ボルダリング競技大会表彰台 男子12名、女子12名

※ユース大会の扱いについては変動の可能性があります

- その他：
- ・大会参加費は主催者が決定することができる
 - ・大会の後援、協賛は主催者が決定することができる
 - ・大会における選手および競技の写真・映像の肖像権は主催者で管理できる
※競技中及び表彰式の写真・動画の提出をお願いすることがあります
 - ・選手のエントリーおよび運営費の管理は主催者がおこなうこととする

リード種目公認大会概要（LJC 一般参加選手選考大会）

開催時期：2018年4月～12月

開催予定数：5大会前後

公認料：5万円

- 開催要件：1、IFSCの決勝方式に準じた決勝を開催し、男女ともに全選手の順位が確定する大会であること
- 2、JMSCAの定める基準（それぞれB級以上）を満たしたセッターおよびジャッジをそれぞれのチーフとすること
※招集するセッター及びジャッジの謝金・旅客交通費は主催者が支払うものとする（謝金額は主催者が決定できるものとする）
- 3、開催希望届をJMSCAへ提出し公認大会認定証を受領した大会であること

LJC2019 出場権獲得条件（公認大会5大会開催の場合）：

- ・各大会の男子上位10名、女子5名をLJC2019 出場権獲得とする
- ・対象者に下記優先出場枠保持選手がいた場合は繰り上げとする
- ・公認大会には複数参加（最大3）することができる（出場権を獲得した場合は、以降の大会では優先出場枠保持選手と同様の扱い）
※2019年のIFSC WCに出場できる年齢に満たない選手は公認大会に出場はできますが、LJC2019の出場権は獲得できません
- ・出場選手が優先出場権を獲得するには、公認大会出場前にJMSCAの2018年度選手A登録が必要です

2019年リードジャパンカップ優先出場枠資格：2018年リードB代表以上、オリンピック強化指定選手

2018年ユース選手権リード競技大会表彰台

※ユース大会の扱いについては変動の可能性があります

- その他：
- ・大会参加費は主催者が決定することができる
 - ・大会の後援、協賛は主催者が決定することができる
 - ・大会における選手および競技の写真・映像の肖像権は主催者で管理できる
※競技中及び表彰式の写真・動画の提出をお願いすることがあります
 - ・選手のエントリーおよび運営費の管理は主催者がおこなうこととする